

**令和5年度**  
**3年次編入学選抜**  
**文化学科**  
**[言語文化系／地域文化創造系]**  
**小論文**  
**問題・出題の意図・採点評価基準**

令和4年11月20日

高知県立大学

問 次の英文を読み、下の問いに答えなさい。

（配点 200点）

著作権者から公衆送信の許諾を得ていない為著作物の引用部分のみ削除して提供します。

出典：Cynthia Enloe, *The Big Push: Exposing and Challenging the Persistence of Patriarchy*,  
University of California Press, 2017

（出題の都合で出典の文章を一部省略・改変した。）

注

decipher 読み解く

fodder 素材、材料

corollary 当然の結果

marital 婚姻の、結婚の

deem だと考える、思う

dichotomy 二分法

chart 描き出す

patriarchy 家父長制

pillar 柱、支柱

beneficiary 受益者

hinder 妨げる、邪魔をする

blinder 目隠し、識別を妨げるもの

classism 階級差別

insight 洞察、見識

pry こじ開ける、押し開ける

jammed （固まって）動かなくなった

問1 political scientist が結婚を研究の対象とするにあたって、障壁となっているのは何ですか。英文の内容に即して、140字以内の日本語で述べなさい。

（配点 40点）

問2 下線部（1）more about politics は具体的に何を指していますか。英文の内容に即して、140字以内の日本語で述べなさい。

（配点 40点）

問3 下線部（2）を可能にするために、あなたは何かが必要であると考えますか。著者の考え方をふまえて、500字以内の日本語で論じなさい。

（配点 120点）

<出題の意図>

- 問1 家父長制について書かれた課題文の第1パラグラフを正確に読み取り、要点をふまえて的確にまとめることができるかどうかをみる。
- 問2 課題文の第1および第2パラグラフを正確に読み取り、要点をふまえて的確にまとめることができるかどうかをみる。
- 問3 課題文全体を正確に読み取り、自分自身の考えを論理的に記述できるかどうかをみる。

<採点評価基準>

- 問1 次の点を見て評価する。
- (1) 家父長制について書かれた課題文の第1パラグラフの内容を正確に理解することができるか（読解力）。
  - (2) 適切な語彙を用いて、要点をまとめることができるか（文章表現力）。
- 問2 次の点を見て評価する。
- (1) 課題文の第1および第2パラグラフの内容を正確に理解することができるか（読解力）。
  - (2) 適切な語彙を用いて、要点をまとめることができるか（文章表現力）。
- 問3 次の点を見て評価する。
- (1) 家父長制が有する課題と解決策について、自らの考えを論理的に表現できているか（知識・理解力、論理的思考力、文章表現力）。